

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	EX325／国際ビジネス法総合2 (International Business Law 2)		
担当者名 (Instructor)	早川 吉尚(HAYAKAWA YOSHIHISA)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	LPX3200	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標 (Course Objectives)

「リーガルマインド」「ビジネスセンス」「国際的な素養」の三つを兼ね備えたグローバル化するビジネス社会に対応可能な人材を育成する。

Create human resources with legal mind, business skills and international sense for the coming globalized business community.

授業の内容 (Course Contents)

本講義は、「国際ビジネス法総合1A・1B」と対をなすものである。日本企業が海外でビジネス展開した際に生ずるトラブルの解決や、あるビジネスモデルの海外での実現のための契約スキーム構築といった業務を日夜行なっている実務家の方々を中心に、様々なゲストスピーカーに順に登壇してもらい、そうした問題が何故生じるのか、その背後にある各国の法制度の差異はどのようなものなのか、さらにその背後にある各国の文化や社会の差異はどのようなものなのか、実例を通じて、米国編、欧州編、アジア編の大きく三つに分けて、各人にわかりやすく解説してもらうことになる。

各授業の後半は、学生との間における質疑応答に充てられる。講義への積極的な参加が期待される。

A guest speaker appears in each session, who serves as an intermediary between Japan and another country. He or she provide his or her experiences which occur in the differences of culture, legal system and social system between the two countries.

授業計画 (Course Schedule)

1. イントロダクション
2. 米国法文化論1
3. 米国法文化論2
4. 米国法文化論3
5. 米国法文化論4
6. 欧州法文化論1
7. 欧州法文化論2
8. 欧州法文化論3
9. 欧州法文化論4
10. アジア法文化論1
11. アジア法文化論2
12. アジア法文化論3
13. アジア法文化論4
14. 総括

授業時間外(予習・復習等)の学習 (Study Required Outside of Class)

予習としては、取り上げられる国やその法制度・文化などを事前に調べ、また、復習としては、その国でゲストスピーカーが直面した問題が何故生じたのか、その背後にある各国の法制度の差異はどのようなものなのか、さらにその背後にある各国の文化や社会の差異はどのようなものなのかにつき整理・考察することが望まれる。

成績評価方法・基準 (Evaluation)

筆記試験(Written Exam)(60%) / 課題10回(40%)

テキスト (Textbooks)

講義の中で適宜指示する

参考文献 (Readings)

講義の中で適宜指示する

その他 (HP 等) (Others(e.g.HP))

